

3月16日：2日続伸も商いは低調

市場は2日続伸となったが商いは低調で、投資家は短期的な相場の見通しに慎重姿勢を維持しているようだ。

ホーチミン取引所では、VN指数は前日から0.45%上昇し1,459.33ポイントで引けた。同取引所は前日も0.45%上昇していた。

273銘柄が上昇、155銘柄が下落、82銘柄は変わらずで、市場には楽観的な雰囲気も漂っていた。

金融関連が市場を牽引した。ホーチミンに上場する18銀行のうち12行が上昇したのに対し、4行が下落、2行は変わらずだった。ベトコムバンク(VCB)は1.7%上昇し、VN指数の上昇に最も寄与した。またミリタリーバンク(MBB)、テックコムバンク(TCB)はそれぞれ1.6%、0.9%上昇するなど堅調だった。

保険会社も堅調で、バオベト保険(BVH)、バオミン保険(BMI)、ペトロリメックス保険(PGI)が揃って2%上昇、BIDV 保険(BIC)も1%超の上昇となった。

ペトロベトナムガス(GAS)、サイゴンビール(SAB)、ベカメックス IDC (BCM)、ダットサングループ(DXG)、ノブランド(NVL)などを含む大型株も1%から3.6%上昇した。

しかし、出来高は6億24百万株、売買代金も18.7兆ドン(8億13百万ドル)と2月7日以来の低水準となり、年初来の平均である26.1兆ドンを大きく下回った。

「商いは低調で全体的にボラティリティも大きくない。VN指数が終日プラス圏で推移したことは、世界的に金融市場が不安定な状況であることを考慮すれば、ポジティブなシグナルととらえることができる」と市場関係者は見ている。

ハノイ取引所では、HNX指数が0.6%上昇し、446.18ポイントで引けた。

流動性も低く、出来高は83百万株、売買代金は2.3兆ドンで、ともに前日から20%程度低下した。

「売り圧力は一時的に弱まっているが、流動性も過去 20 日間平均の低水準にあることで、投資家の慎重姿勢が継続している。VN 指数は 1,460～1,465 ポイントのレンジにトライするだろうが、この水準では売り圧力も強まるだろう。よって投資家は慎重姿勢を継続しつつ、回復局面では利益確定売りが出るだろう。」とあるアナリストはレポートで述べている。

両取引所で外国人は 3,060 億ドルを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。